

「変えてみませんか?!」で、いいのですか?  
八女市の失われた16年、「変える」前に「正す」べきでは。

「野田前八女市長」に届けたい。

私達、八女市民は「失われた16年」をいかに取り戻すかが、一番重要な課題です。「変えてみませんか」で、市長の座に座って実に長期16年、「何が変わりましたか?」と、お聞きしたい。隣の筑後市や大牟田市と比べて八女市は停滞してしまったことを私達は後悔しています。野田前市長の天下一品のパフォーマンスに騙されて、あなたに託してしまったことを本当に後悔しています。三田村新市長には、本当の意味で私達の八女市を「変えて」欲しいと願うばかりです。

しかし、野田前八女市長。あなたは、同じ手口、天下一品のパフォーマンスで今度は国政に「チェンジ」ですか?もう黙っていることは出来ません。「変える」前に正してほしい。

#### 八女市の財政改革は本当にできたのでしょうか

八女市の財政改革は進んでいません。4期目の途中で市政を投げ出したあなたでしたが、この4期(約16年)の間で地方債残高は93億から158億に大幅に増加しました。地方債残高とは長期の借金、つまり自分たちの子どもへツケをまわしたのです。これであなたが常々言っている財政改革は本当にできたのでしょうか。単に市政に限界を感じて投げ出したのではないですか。

#### 八女市の合併をなぜ放り出したのでしょうか

市政を投げ出すときに「八女地区の合併に筋道が付いた節目であり、ご理解いただけると考えた。」と発言されていました。しかし、合併までに課題・難題が残されており、合併協議会の会長であったあなたに、「合併後の新市長として執行していただきたい。いま辞められては、無責任だ。」という、合併相手となる八女郡(黒木、立花、星野、矢部)の4町村長の声を振り切って、市政を投げ出しました。これは、あまりにも無責任な行動です。

#### 八女市内の某ホテル、固定資産税等の不納欠損金は誰の責任でしょうか

約25年前に営業開始された某ホテル。数年前に、某町議の先生立会いの下、オーナーと八女市とで和解文書が取り交わされたようですが、この経緯を詳細に調べたところ、1,300万円以上もの税金が不納欠損金として処理されていました。つまり、八女市としての適正な収入が1,300万円以上失われていたのです。この責任は誰にあるのでしょうか。そもそも1,300万円以上という金額は適正なのですか?某町議には仲介料も払われたとの記録も一部にはあるようです。